

各会計の決算状況

1. 一般会計の決算状況

(単位：千円)

平成22年度決算額			C の内訳		
歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	繰越明許費 繰越額	基金積立額	翌年度 繰越額
5,880,357	5,755,432	124,925	38,013	44,000	42,912

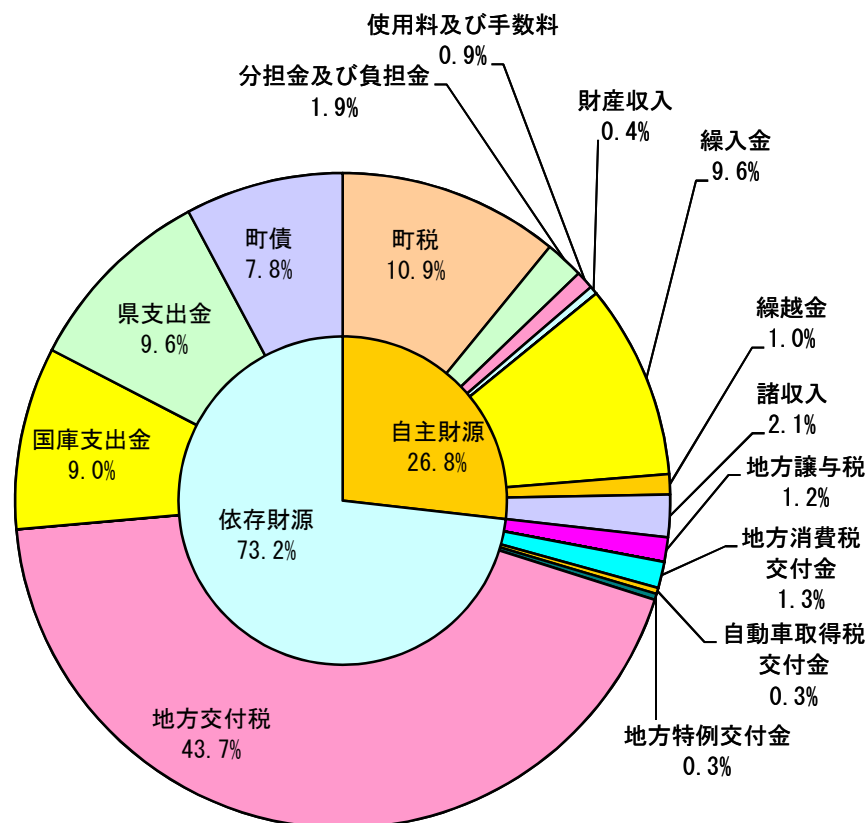
平成22年度の決算額は、歳入が58億8035万7千円で、前年度と比較すると1億6842万2千円（2.9%）の増加、歳出は57億5543万2千円で、1億4945万9千円（2.7%）の増加となっています。

また、歳入から歳出を差し引いた剰余金1億2492万5千円のうち、3801万3千円を翌年度繰越事業の財源として繰り越し、4400万円を財政調整基金へ積み立て、残りの4291万2千円は平成23年度へ繰り越しました。

●歳入

(単位：千円、%)

区分	平成22年度		平成21年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	決算額 A	構成比	決算額 A	構成比		
町税	643,120	10.9	653,720	11.5	△ 10,600	△ 1.6
地方譲与税	70,045	1.2	70,042	1.2	3	0.0
利子割交付金	2,081	0.0	2,278	0.0	△ 197	△ 8.6
配当割交付金	752	0.0	581	0.0	171	29.4
株式等譲渡所得割交付金	265	0.0	251	0.0	14	5.6
地方消費税交付金	78,360	1.3	78,494	1.4	△ 134	△ 0.2
自動車取得税交付金	14,107	0.3	14,627	0.3	△ 520	△ 3.6
地方特例交付金	19,315	0.3	13,872	0.2	5,443	39.2
地方交付税	2,567,406	43.7	2,378,880	41.7	188,526	7.9
交通安全対策特別交付金	1,422	0.0	1,511	0.0	△ 89	△ 5.9
分担金及び負担金	111,415	1.9	110,531	1.9	884	0.8
使用料及び手数料	49,519	0.9	50,155	0.9	△ 636	△ 1.3
国庫支出金	528,891	9.0	1,119,467	19.6	△ 590,576	△ 52.8
県支出金	566,213	9.6	590,802	10.3	△ 24,589	△ 4.2
財産収入	25,119	0.4	16,051	0.3	9,068	56.5
寄附金	1,646	0.0	123	0.0	1,523	1,238.2
繰入金	561,613	9.6	63,142	1.1	498,471	789.4
繰越金	56,962	1.0	40,905	0.7	16,057	39.3
諸収入	121,299	2.1	128,340	2.3	△ 7,041	△ 5.5
町債	460,807	7.8	378,163	6.6	82,644	21.9
合計	5,880,357	100.0	5,711,935	100.0	168,422	2.9



寄附金、配当割交付金、利子割交付金

株式等譲渡所得割交付金及び交通安全対策特別交付金については割愛する。

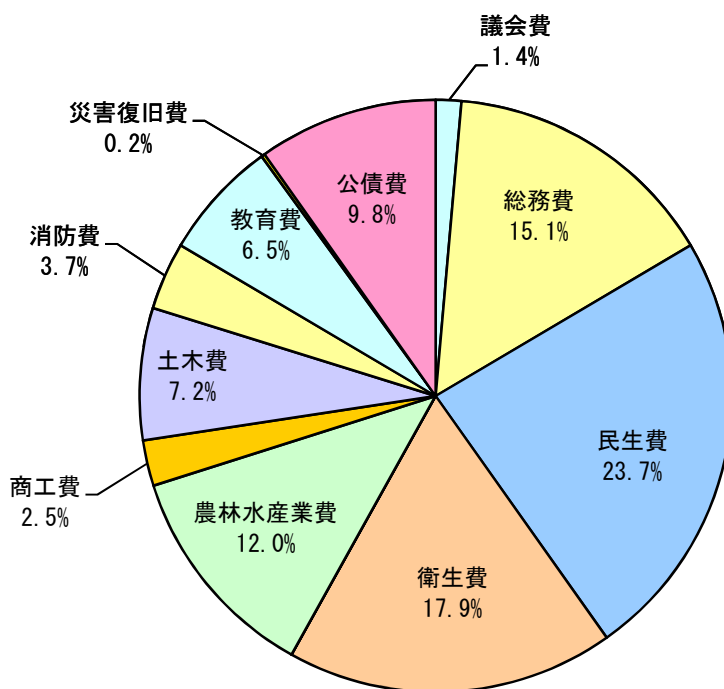
歳入総額は、前年度より1億6842万2千円（2.9%）増加の58億8035万7千円です。地方交付税が歳入の約44%を占めるなど国や県への財源依存度は非常に高く、いかに自主財源を確保していくかが重要な課題です。各区分における増減の主な要因は次のとおりです。（増減額の大きい順）

- 国庫支出金（△590,576） → 定額給付金給付事業費補助金（△166,408）
地域活性化・経済危機対策臨時交付金（△166,189）
地域活性化・生活対策臨時交付金（△105,966）
地域活性化・公共投資臨時交付金（△80,906）
道整備交付金（△76,126）
農林漁業活性化プロジェクト支援交付金（△67,422）
- 繰入金（498,471） → 公共施設整備基金繰入金（488,000）
下水道等事業基金繰入金（11,544）
山林育成基金繰入金（7,008）
- 地方交付税（188,526） → 普通交付税（160,396）
特別交付税（28,130）
- 町債（82,644） → 辺地対策事業債（73,300）
臨時財政対策債（42,744）
道整備交付金事業債（△26,500）
県営広域営農団地農道整備事業債（△25,900）

●歳出

(単位：千円、%)

区分	平成22年度		平成21年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	決算額 A	構成比	決算額 A	構成比		
議会費	82,370	1.4	73,323	1.3	9,047	12.3
総務費	868,584	15.1	991,535	17.7	△ 122,951	△ 12.4
民生費	1,362,018	23.7	1,232,061	22.0	129,957	10.5
衛生費	1,031,850	17.9	542,344	9.7	489,506	90.3
労働費	519	0.0	110	0.0	409	371.8
農林水産業費	693,055	12.0	696,453	12.4	△ 3,398	△ 0.5
商工費	140,599	2.5	201,559	3.6	△ 60,960	△ 30.2
土木費	413,896	7.2	529,752	9.4	△ 115,856	△ 21.9
消防費	214,789	3.7	254,129	4.5	△ 39,340	△ 15.5
教育費	373,637	6.5	491,843	8.8	△ 118,206	△ 24.0
災害復旧費	11,180	0.2	16,465	0.3	△ 5,285	△ 32.1
公債費	562,935	9.8	576,399	10.3	△ 13,464	△ 2.3
合計	5,755,432	100.0	5,605,973	100.0	149,459	2.7



労働費については割愛する。

歳出総額は、前年度より1億4945万9千円（2.7%）増加の57億5543万2千円です。公債費は昨年に引き続き減少となったものの、依然財政運営を圧迫する要因であるため、町債の新規発行を抑制し公債費削減に取り組まなければなりません。

各区分における増減の主な要因は次のとおりです。（増減額の大きい順）

- 衛生費（489,506） → 火葬場建設事業（432,793）
家庭用合併処理浄化槽設置整備費補助金（19,670）
町立太良病院事業会計繰出金（補助等）（12,833）
- 総務費（△122,951） → 定額給付金給付事業費補助金（△134,879）
庁舎駐車場等整備事業（17,000）
情報化推進事業用備品（△10,492）

- 教育費（△118,206） → 学校施設耐震補強事業（△65,491）
学校ICT環境整備事業委託料（△50,159）
学校ICT化用備品購入事業（△12,661）
- 土木費（△115,856） → 道整備交付金事業（△152,252）
辺地対策事業（73,424）
町営住宅屋上改修事業（△38,375）

また、各区分における主な事業は次のとおりです。

- ◇総務費 → 減債基金積立金（288,522）
定住促進事業費補助金（25,000）
太良町総合開発計画策定業務委託料（3,101）
- ◇民生費 → 保育所運営委託料（259,919）
障害者自立支援給付費（149,822）
児童手当及び子ども手当（180,843）
地域支援事業費（36,730）
老人ホーム入所措置費（33,317）
- ◇衛生費 → ごみ収集運搬処分等業務委託料（55,580）
火葬場建設事業費（497,856）
健康増進事業費（16,379）
予防接種事業費（26,038）
- ◇農林水産業費 → 広域漁港整備事業費（84,464）
中山間地域等直接支払交付金（65,549）
県営広域農道整備事業負担金（18,500）
畜産経営支援緊急対策事業費補助金（21,323）
- ◇商工費 → 道の駅施設整備事業費（13,238）
廃止路線代替バス運行費補助金（3,947）
納涼夏まつり補助金（2,625）
- ◇土木費 → 道整備交付金事業費（131,563）
辺地対策事業費（139,208）
町道新設改良事業費（49,869）
- ◇消防費 → 消防車両等購入費（4,236）
全国瞬時警報装置整備事業費（3,780）
- ◇教育費 → 学校施設耐震補強事業費（20,751）
大浦公民館駐車場整備事業費（10,997）
アシスタントティーチャー配置事業費（7,594）

2. 特別会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	平成22年度決算額			Cの内訳		
	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	基金積立額	翌年度繰越額	精算金
山林	190,713	188,015	2,698	—	2,698	
老人保健	3,300	2,344	956			956
後期高齢者医療	105,398	103,446	1,952	—	1,952	
国民健康保険	1,671,657	1,659,454	12,203	—	12,203	
漁業集落排水	50,765	44,511	6,254	—	6,254	
簡易水道	76,171	67,693	8,478	4,300	4,178	

※老人保健特別会計につきましては、後期高齢者医療特別会計へ移行された為、本年度末にて閉鎖されました。

(単位：千円、%)

会計名	平成22年度決算額		平成21年度決算額		増減			
	歳入 A	歳出 B	歳入 C	歳出 D	歳入 A-C	増減率	歳出 B-D	増減率
山林	190,713	188,015	201,833	199,189	△ 11,120	△ 5.5	△ 11,174	△ 5.6
老人保健	3,300	2,344	7,187	5,280	△ 3,887	△ 54.1	△ 2,936	△ 55.6
後期高齢者医療	105,398	103,446	101,335	100,346	4,063	4.0	3,100	3.1
国民健康保険	1,671,657	1,659,454	1,782,432	1,819,123	△ 110,775	△ 6.2	△ 159,669	△ 8.8
漁業集落排水	50,765	44,511	47,306	42,789	3,459	7.3	1,722	4.0
簡易水道	76,171	67,693	81,381	77,184	△ 5,210	△ 6.4	△ 9,491	△ 12.3

国民健康保険特別会計では、医療費等の減少により歳出が約1億6000万円減少しました。また、老人保健特別会計においては、後期高齢者医療制度へ移行したことにより、平成22年度までの運用となっているため歳入・歳出ともに前年比策55%減少しています。

3. 企業会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	区分	平成22年度決算額		
		収入総額 A	支出総額 B	差引 A-B
町立太良病院	収益的	871,090	841,998	29,092
	資本的	40,773	57,743	△ 16,970
水道	収益的	57,834	50,894	6,940
	資本的	0	14,849	△ 14,849

※ 資本的収支の不足分は、それぞれの事業会計の内部留保資金によって補てんされています。

(単位：千円、%)

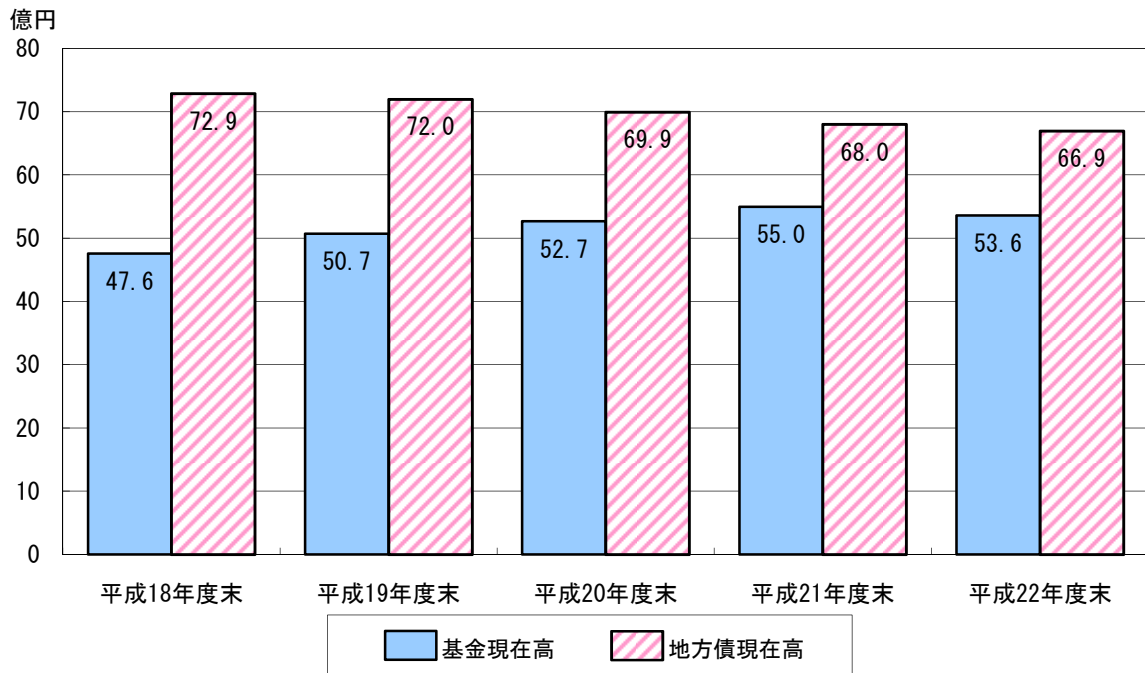
会計名	区分	平成22年度決算額		平成21年度決算額		増減			
		収入 A	支出 B	収入 C	支出 D	収入 A-C	増減率	支出 B-D	増減率
町立太良病院	収益的	871,090	841,998	851,637	884,590	19,453	2.3	△ 42,592	△ 4.8
	資本的	40,773	57,743	73,348	88,134	△ 32,575	△ 44.4	△ 30,391	△ 34.5
水道	収益的	57,834	50,894	56,793	52,924	1,041	1.8	△ 2,030	△ 3.8
	資本的	0	14,849	0	13,179	0	—	1,670	12.7

町立太良病院事業会計では、病院改革プランに基づく事業実施により、収益的収入が約1900万円増加し、収益的支出において、約4300万円減少した結果黒字転換しています。なお、資本的収支の不足分はそれぞれの事業会計の内部留保資金によって補てんしています。

※収益的収入及び支出とは、1年間の通常業務に係る事業の収入と支出をいいます。

資本的収入及び支出とは、サービスの維持、拡大のための建設改良費や企業債収入など、収入支出の効果が将来にわたるものをいいます。

4. 基金及び地方債現在高の状況（全会計）



上のグラフは全会計における基金（積立基金及び定額運用基金）と地方債の現在高の推移を表しています。基金現在高は、町営火葬場建設費の財源として公共施設整備基金から取崩したため、前年度より約1億3700万円減少しています。また、地方債現在高は、投資的事業等の財源として毎年借り入れをしていますが、昨年度に引き続き借入額よりも返済額が多かったために約1億600万円減少しています。いかにして基金残高を確保し地方債の新規発行を抑制するかが、今後の重要な課題です。なお、地方債では普通交付税で償還の一部が補てんされますので、実質的な町の負担は約26億7900万円となります。